

占領下の日本における家庭科教育の成立と展開 (XXV)

—『昭和三十四年度学習指導要領家庭科編高等学校用』の底本となった
ニューヨーク州の家庭科カリキュラム—

柴 静 子

(2011年10月6日受理)

The Establishment and Development of Homemaking Education in Japan
under the Occupation (XXV)

— Planning guide of homemaking education in New York State and secondary
homemaking course of study (1949) compiled in Japan —

Shizuko Shiba

Abstract: This report cleared the contents of the planning guide of secondary homemaking education in New York State and compared with Japanese secondary homemaking course of study compiled in 1948-1949. By the analysis of them, the results were as follows: 1. As compare the New York State planning guide (homemaking 2,3) and secondary homemaking course of study in Japan, many similarities were seen in both structure and contents as well as the case of homemaking 1. 2. The learning experience in the homemaking curriculum of New York was not structured in subject areas and cognition levels. The Japanese course of study had similar problems. 3. In 1953 an addendum version was taken out about the curriculum of New York. The new curriculum structured by the idea of concepts and generalizations was published in 1965. Japanese revised homemaking course of study in 1961 and 70 were not influenced by it.

Key words: homemaking education in secondary school, course of study, planning guide of New York State

キーワード：高等学校家庭科，学習指導要領，ニューヨーク州のカリキュラム

はじめに

高等学校家庭科は、1947（昭和22）年5月15日の『学習指導要領家庭科編（試案）昭和三十二年度』の発行によって成立したと見ることができる。しかしこの学習指導要領は、文部省の家庭科担当官、重松伊八郎自らが述べているように、「事情があって小・中学校のその程度にも研究の余裕をもたなかった、未熟な、間に合わせのものである¹⁾。」として、成立当初から改訂が急がれていた。

1948年6月にCIEの家庭科教育顧問として来日したD.S.ルイスは、この昭和三十二年度の学習指導要領

の改訂を主目的にしており、同年の7月から9月までに集中的に日本側委員会の改訂作業を指導・助言した。その成果である1949（昭和24）年8月29日発行の『昭和三十四年度学習指導要領家庭科編高等学校用』は、昭和三十二年度の学習指導要領に示された5領域から8領域に教科内容が拡張されたこと、新科目である「一般家庭」が設置されたこと、この教科のユニークな学習指導方法であるホーム・プロジェクトや学校家庭クラブ活動、そして調理実習室の設備としてユニットキッチンの導入が図られたことを特徴としていた。

既に明らかにされているように、ルイスは学習指導要領作成中の日本側委員会に対して、当時、完成を間近

に控えていたニューヨーク州の家庭科カリキュラム案を重要な参考資料として手渡し、指導要領の方向性を具体的に示した。1948年の夏、ルイスが提供したニューヨーク州のカリキュラム試案は、1950年に一冊の本(『Planning Guide HOMEMAKING EDUCATION』: The University of the New York, The State of New York Bureau of Home Economics Education, 1950)となって、多くの教師の授業や研究に寄与することになった。

筆者は先に、このカリキュラム中の「HOMEMAKING 1」と『昭和二十四年度学習指導要領家庭科編高等学校用』の内容構成を比較検討することによって、双方の特徴並びに指導要領作成時における前者の影響について明らかにした²⁾。本稿では、引き続き、「HOMEMAKING 2」および「HOMEMAKING 3」の内容を取り上げて、『同学習指導要領』との内容比較を行い、日本の高等学校家庭科教育がアメリカの教育の強い影響を受けて出発したという事実のさらなる確認を目的とした。なお研究方法は、日米の資料による文献研究である。

1. 「HOMEMAKING 2」および「HOMEMAKING 3」の内容

表1は、ルイスが学習指導要領作成の参考資料として日本側委員会に提示した、ニューヨーク州の中等学校家庭科カリキュラム『Planning Guide HOMEMAKING EDUCATION』(1950年出版)の第2学年(HOMEMAKING 2)と第3学年(HOMEMAKING 3)の内容である³⁾。単元構成は次のとおりである。

第2学年: 単元1: 日常生活における技芸

単元2: わたし自身を着る

単元3: もっと住みやすい家庭を作る

第3学年: 単元1: 家族の食物問題

単元2: 家庭と地域の健康

単元3: 家族の住居

単元4: 結婚を楽しみに待つ

単元5: 家庭の中の子ども

単元6: 家族のために必要な衣服

「HOMEMAKING 2」と「HOMEMAKING 3」には、既に報告した「HOMEMAKING 1」と同様に、以下のような特徴が見られる。

①全ての単元内容が、家政学の複数領域から構成されている。

②単元は、「現実生活の分析・研究と問題設定」、「問題解決のための計画」、「実施」、「評価」という展開になっており、問題解決学習の形態が取られている。

③学習経験・活動は、「展示する (display)」、「調査する (investigate)」、「計画する (plan)」、「研究する (study)」、「討論する (discuss)」、「発表する (present)」、「報告する (report)」、「評価する (evaluate)」などの行動目標の形で、具体的に示されている。

④実地見学や討論、研究、実験、調査、発表などのさまざまな学習方法が提示されている。映画やラジオ放送、スライド、動画、図表、雑誌、専門書などの多様な教材を取り入れている。

⑤看護婦や生活改良普及員のような学校外の専門家を授業に招聘し、専門の立場から講話をしてもらうなどして、学習をより現実的で専門的なものになっている。

⑥学校で学習したことを、家庭で実践することが求められており、学校と家庭が強く結びつけられている。

⑦教材内容として、家庭生活や地域社会の問題が取り上げられ、その解決が目指されている。

以上の特徴は、取りもなおさずこのカリキュラムの長所と見ることができる。しかしその反面、日常の多種多様な家事に対処している主婦のもつべき知識や技能、さらには責任感や心構えが仕事内容毎に網羅されており、学習目標の明確化、内容の精選、獲得すべき知識や技能の体系化という点において、このカリキュラムは未だ発展途上であったといえよう。

2. 「HOMEMAKING 2・3」と『昭和二十四年度学習指導要領家庭科編高等学校用』との内容比較

『昭和二十四年度学習指導要領家庭科編高等学校用』は、「I 被服」、「II 家庭経済」、「III 家庭管理」、「IV 家族」、「V 食物」、「VI 衛生」、「VII 育児」、「VIII 住居」の8つの目録(注: 領域に相当する)から構成されている。構造を見ると、基本科目である「一般家庭」が帯として各領域にわたっており、その上に選択科目「被服、家庭経理、家族、食物、保育」が位置している。各科目は単元で構成されている。

表2および表3は、「HOMEMAKING 2」・「HOMEMAKING 3」と『昭和二十四年度学習指導要領家庭科編高等学校用』との関連を知るために、学習活動に限って両者を対比したものである。

表2が示すように、「HOMEMAKING 2」の『単元1』の学習活動には、学習指導要領の「VIII (住居)」の(単元4)と類似のものが見られた。さらに『単元2』では、「I (被服)」の(単元1・2・6)と、次いで『単元3』では、①「III (家庭管理)」の(単元1)、②「V (食物)」の(単元3・4)そして③「VIII (住居)」の(単元1・4・5)において類似の活動がみられた。

表1 「HOMEMAKING 2」および「HOMEMAKING 3」の内容

HOMEMAKING 2

[H2-U1] 単元名：日常生活における技芸

[H2-L1] 基本的学習：良いデザインと調和のとれた色を鑑賞し、衣服や家屋にこの知識を応用する能力を発達させる

[H2-A1] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① デザインと色彩の美を例示している対象物を展示し、研究する。可能ならば、文化の多様性を表す対象物を含める。
- ② 建築物、自動車、家具、服装、あらゆる種類の機械など、技芸の用途例を表にする。
- ③ デザインに応用される、簡素化された機能的専門用語の意味を討論し、説明する。
- ④ よいデザインを示している挿絵や実際の住居を研究する。効果を分析し、含まれる技芸の原理を指摘する。
- ⑤ よいデザインの根拠を示すために、挿絵や実際の衣服を研究する。効果の違いを分析し、含まれる技芸の原理を指摘する。
- ⑥ アクセサリーや家具の魅力的な配置を例示するために、家庭科室を整頓する。
- ⑦ モデルとして女子を用いて、ベルトの位置を変えたときや、ブラウスをスカートの中に入れて、外に出したときの効果を演示する。
- ⑧ モデルとして生徒を用いて、黒もしくは白色の細長い紙を、はじめ衣服に垂直に、その後水平に当てて実験する。各効果を書きとめる。
- ⑨ 最も好ましい効果を与えるために、カーテンに止め飾りを配列する。最も良い空間区分を与えるために、窓かけを整える。
- ⑩ よいデザインの原理を応用している絵画を掲示板に貼る。
- ⑪ タオル、陶器、広告、織物などの縁取りの実例を研究する。
- ⑫ 壁紙のサンプルを分類し、良いデザインと悪いデザインの材料を貼ってみる。
- ⑬ よい技芸の原理を獲得するために、自分の衣服或いは家具を計画する際を守るべき指針をつくる。
- ⑭ カラーサークルをつくるために、色紙或いは材料を並べる。色合いと同様に、明度と強度の変化量を書く。
- ⑮ 提示された絵のコピーから、明度で大きなコントラストを示す絵、ほとんどコントラストを示さない絵を選択する。効果を比較する。
- ⑯ 色合い多様で、多数の模様が入った材料を調査せよ。どれが色の組み合わせとして最もふさわしいか。組み合わせのために色の配分を決める際に用いる指針を明確に述べる。
- ⑰ 好ましい組み合わせにするために、色と質感の多様性を持つサンプルを集める。色の調和について、色合いや明度、強度の割合を評価する。各グループのサンプルの用途を提案する。
- ⑱ 地域の博物館、デパート、家庭→実地見学に出掛ける。技芸と色の原理に関する実例を観察し、分析する。
- ⑲ 磁器、銀細工、テーブルかけ、絵画、ランプのような利用可能なホームアクセサリーを集める。デザインの質、色の調和、用途について評価する。
- 20 家庭科室、事務室、家庭などに、切り花、つる植物、イチゴ、季節の草木を並べる。花と同様に、容器にも注意を払う。デザインと色の効果的な利用に関して、評価する。

[H2-U2] 単元名：わたし自身を着る

[H2-L1] 基本的学習：自分に似合った適合性のある衣服を選ぶ

[H2-A1] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 毛、皮膚、目への色の効果を示すために、生徒に異なる色や繊維の布を着せる。
- ② 前と違った女の子になるために、色や色の組み合わせを考える。
- ③ 着色、似合う色の個人表を作成する。
- ④ 実際の衣服、カラーのファッションの実例、アート紙、布切れ、クレヨン、ペンキなどを利用する。調和的なワードローブを作るために、いろいろな色のものを集める。例えば、赤い冬用コート、ケリー・グリーン色の春用の短いコートを用いた計画を立てる。
- ⑤ 様々なタイプのイラストを集めたり、描いたりする。
- ⑥ さまざまなタイプの容姿や性格に対する多様なライン、デザイン、スタイル、質感の効果について論じ、例証する。
- ⑦ 自分に似合った色やデザインの衣服を選択する際に考慮されるすべての要素を要約する。色とスタイルに関する選択の指針を作成する。
- ⑧ クラスで作る衣服のデザインと色に関連したパターンと材料を選択する。

[H2-L2] 基本的学習：正しい姿勢とよい身繕いによって、個人的容姿を改善する

[H2-A2] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 個人の容姿に影響する要素を考える。評価表を準備し、授業の中で定期的に使用する。
- ② 衣服の外観、落ち着きと自信についての印象に関するよい姿勢、悪い姿勢の効果を演示する。
- ③ クラスの生徒らの前を各々の女子が歩きながら、グッド・ポイント・パレードを行い、以前に準備した評価表に従って、点数で評価する。
- ④ 体育教育室との協力で、動作や容姿の改善を望む者のために、正しい運動を計画する。
- ⑤ 姿勢を改善するための個人プログラムを作成し、実行する。
- ⑥ 良い身なりに関する映画を視聴し、討論する。
- ⑦ 委員会が活動して、見繕い材料を準備し、展示を計画する。
- ⑧ 個人的な着色や衣服と調和させるために、口紅やマニキュアシェードを選択する。
- ⑨ 新しいヘアアレンジを試みる。クラスで発表し、批評してもらう。
- ⑩ 効果的なメイクアップを実践する。クラスで見せて批評してもらう。

[H2-L3] 基本的学習：自分自身の衣類を清潔にし、きちんと整理し、手入れすることに誇りをもつ

[H2-A3] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① ストッキングや衣服の繕いや素早い修理方法を実演する。
- ② 家庭から繕いを必要とする衣服をもってきて、繕いを実際に行ってみる。経験ある生徒が他の者を手助けする。
- ③ しみ抜きが必要な衣服を家庭から持参する。
- ④ これらのタイプのしみに、容易に入手できるいろいろなしみ除去剤を試してみる。使用の効果、簡易さを評価する。
- ⑤ 家庭科室に、しみ除去キットを備える。
- ⑥ 衣服を作製する前に、色の定着度、さまざまなアイロンの温度に関して材料サンプルを試験する。
- ⑦ 援助が必要とされる洗濯やアイロンかけの問題を発表する。例えば、手袋、レーヨンのブラウス、ウールのセーター、ナイロンのスリッパ、ひだ付きのウールのスカート。教師が経験ある生徒が、正しい取り扱いを実演する。
- ⑧ 各自の予定表に、1週間に1度、修繕の時間を計画的に入れる。
- ⑨ 毎日、靴下や下着を洗濯する。
- ⑩ 衣服を直すこと、洗濯すること、アイロンをあてることに責任をもつ。これらに必要な時間を記録する。

[H2-L4] 基本的学習：衣類を購入する際、値段に価値を見出す方法を発見する

[H2-A4] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 既製のブラウス、スカート、スーツを展示する。(店か個人から借用する。) 価格に関して、もし可能であるならば、仕上がりやスタイル、適合性を評価する。
- ② よい服装をしていると思う人物を選ぶ。選択した理由を挙げる。
- ③ ある場合には、装いが不適当であることに関する経験を報告する。状況を分析する。
- ④ さまざまな場合に適当した服装一式の挿絵を台紙に貼る。
- ⑤ さまざまな場合に適合性を決定するために、基本的な服装を展示し、アクセサリーセットを加える。
- ⑥ 製作する衣服に適した織物のサンプルを展示して確認する。
- ⑦ 様々な織物を用いた活動や、多様な織物に関心をもった経験について話す。クラスで製作する衣服に関して、利点と欠点を評価する。気にかかる織物のサンプルを用いて、実験する。
- ⑧ 現在のワードローブ、要求、価格などに基づいて、衣類予算を立てる。

- ⑨ 地域の店や広告展示品のスリップ、ストックキング、セーターといった衣服を調査する。用途と価格の魅力、適合性の観点から評価する。購入時の留意点に関する情報を得るために、参照資料を利用する。
- ⑩ 既製服のラベルを研究する。有益か無意味かという観点で、評価する。
- ⑪ 地方の店での買い物物を劇化する。買物客の購入習慣や、買物客と小売商人の両者の慣例を分析する。
- ⑫ 買物客の倫理慣例を再検討し、拡大する。
- ⑬ 可能であれば、ショッピングセンターを実地見学する。
- ⑭ 機会があれば、衣服と材料を購入し、成功例や困難点について報告する。

[H2-L5] 基本的学習：市販のパターンを用いて単純な衣服を製作する

[H2-A5] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 必要な裁縫道具を示し、再検討する。用途や手入れを実演する。
- ② ミシンを使う能力を演示する。必要ならば、実践する機会を設ける。
- ③ 現在の衣装を研究し、要求を表にする。
- ④ ファッション雑誌や市販のパターンブックを研究する。
- ⑤ 「スマートなパターン」といった映画を視聴する。
- ⑥ 身体測定を実演する。2人1組になり、測定を行い、記録する。必要なパターンのサイズを決める。
- ⑦ 必要な衣服の簡単なパターンを選択する。
- ⑧ 市販のパターンの調整と利用、マーキングの方法、ピン留め、裁断を実演する。
- ⑨ 自分のパターンと材料に関する使用方法を応用する。
- ⑩ 必要があれば、基礎的裁縫プロセスを実演する。完成までのさまざまな段階でのプロセス・モデルを研究する。
- ⑪ 衣服を製作したり、調整したりする際に、モデルや教師の指導によって、型紙の補正法を理解する。
- ⑫ スタイルや似合い具合、仕上がりについて、完成した衣服を評価する。
- ⑬ 利用できる時間と生徒の能力に従って、更なる衣服やアクセサリーを製作する。

[H2-U3] 単元名：もっと住みやすい家庭を作る

[H2-L1] 基本的学習：美的で住みやすい家庭を作ることによって、主婦が個人と家族を豊かにできる方法を認識する

[H2-A1] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 「彼女は貧しい妻であり母親である以外は、優れた主婦である」という物語を、印象を交えながら読む。物質的財産と社会的関係とのバランスの必要性を指摘する。
- ② 家庭の住みやすさが家族構成員にどのような効果を与えるか。金銭の出費なしに、家庭の住みやすさは達成され得るのか、説明する。
- ③ 人は美しい審美眼を発達させるのか、という問題を提起して、論じる。
- ④ 心理学者、経済学者、経営者、芸術家などによる主婦の役割を強調しながら、主婦の多様な責任について概説する。

[H2-L2] 基本的学習：最大限の有効性と魅力を引き出すために、家具や装飾品を配置する能力を発達させる

[H2-A2] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 家庭でお気に入りの部屋を選択する。楽しくさせる要素と好きな理由を表にする。討論に基づいて評価表を準備する。
- ② 作成した評価表セットを用いて、家庭の部屋を点数化する。詳細と合致させることによって、部屋の改善計画を立てる。
- ③ 「beforeandafter」という雑誌で、家具の配列に関する写真を見つける。
- ④ 良い配置と色の配色を例証している家庭を実地見学する。
- ⑤ 壁紙のサンプル、カーテンの見本を利用し、室内装飾材料と部屋との魅力的な色の組み合わせをつくる。
- ⑥ 更なる利便性と美しさを確保するために、家具を再配置する。
- ⑦ もっと楽しい効果を得るために、絵を再配置する。
- ⑧ 2枚の平面図と家具図のコピーを用いて、特別の家族の要求やデザインの原理に応じた用途と美しさを追求して、家具を配置する。
- ⑨ 家事室の家具とアクセサリーに関する再配置の実験を行う。
- ⑩ 食器棚、陶器戸棚、ドレスサートップなどを魅力的且つ便利になるよう配置する。
- ⑪ 絵画を選択したり、掛けたりする提案リストを作成する。可能であれば絵を枠に入れ、掛ける。
- ⑫ 特別の部屋のさまざまな特性を、壁空間のサイズ、明るさ、配置について考え、部屋の色や設備を選択する。

[H2-L3] 基本的学習：より効果的に利用するために、家具や設備を選択したり、手入れをしたりする

[H2-A3] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① ホームセンターや家庭での設備と家具の備え付けに関する要求を分析する。
- ② 住宅の建築や修理。(1)カーテン、家具カバー、プレスマット、本棚、化粧台の製作。(2)台所椅子の色づけ。(3)ベッドの改造。(4)電灯のかさの製作。(5)カーテンの染色、といった改造によって、これらの要求のいくつかを満たす方法を計画する。
- ③ よいデザインと色彩の調和という原理を適用し、これらのプロジェクトのいくつかを実行する。
- ④ 設備と備え付けの家具の購入を決定すべき価格と関連する要求について分析する。
- ⑤ 予算の範囲内で、品目を購入する計画を立てる。
- ⑥ 参照資料や情報から、よい家具の特性を決定し、表にする。
- ⑦ 木材の仕上げを手入れする方法を調べ、実践する。
- ⑧ 室内装飾品、厚手のカーテン、ガラス戸用カーテンの材料について研究する。特性を観察したり、使い易さを判断したりするために、できるだけ数多く取り上げる。
- ⑨ 異なる品質のタオルを比較する。参照資料を用いて、タオルを購入する際に求めるべき望ましい特性のチェックリストを作成する。
- ⑩ サンプルを比較し、シーツや毛布の望ましい特性を決定する。家庭用器具の購入ガイドを作成する。
- ⑪ ベッド製品を繕ったり、修繕したりすることを演習し、実践する。
- ⑫ 毛布を洗濯する方法に関する情報を得るために、参照資料を用いる。これらの方法と家庭で利用される方法とを比較する。可能であれば実演する。
- ⑬ 地域の店で売られている絨毯やフロアカーパーのタイプを調査する。価格や構造、手入れ、快適性を考慮しながら、参考資料、広告、サンプルを研究する。
- ⑭ よいデザインの原理や効果的な使用に貢献する要素を考慮しながら、家族が新しい家具や絨毯、電灯、織物などを選ぶのを援助する。
- ⑮ 絨毯を洗う方法を演習し、実践する。小さな絨毯を洗剤で洗う。
- ⑯ 参照資料、説明資料、もし可能ならば販売者による実演によって、次の道具の効率をあげる要点を決定する。ストーブ、冷蔵庫、流し、洗濯機、カーペット掃除機、電気掃除機、電気アイロン、ミシン、興味を引く他の機器。
- ⑰ 家族が購入を計画している機器について、価格と効率について比較する。
- ⑱ 学習したすべてのタイプの機器について、手入れの説明を研究する。学校で用いる機器の正しい手入れを実践する。
- ⑲ 家庭における特別の機器や備え付けの家具の手入れに責任をもつ。
- ⑳ 「生活改善の夜明け」のような映画を視聴する。電気回線の負荷に関する問題について討論する。
- ㉑ 荷重電流の可能性を決定するために、各家庭の分岐回路で用いられている設備の一覧表を作成する。
- ㉒ ヒューズを取替えたり、メーターを読んだりするなどの演習をみる。
- ㉓ よい照明の基準についてクラスで話し合うために、公益事業体(UtilityCompany)の代表者を招待する。
- ㉔ 説明が実際の電灯の展示によって特別の用途に適したものを選択する。目的の適合性とデザインの美しさに関して、この選択を評価する。
- ㉕ 設定された状況、即ち新しく結婚したカップルとか、築10年の住宅で、機器の購入と維持に関する5年間計画を作成する。

[H2-L4] 基本的学習：家庭の貯えを増やす

[H2-A4] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 家庭で必要とされる貯え空間のタイプを表にする。
- ② 効率的な貯えを例証している写真を集める。

一『昭和二十四年度学習指導要領家庭科編高等学校用』の底本となったニューヨーク州の家庭科カリキュラム 一

- ③ よい貯蔵設備を例証している家庭を訪問する。
- ④ 参考資料と家庭の状況に関する報告によって、さまざまなタイプの理想的貯え空間の基準を作成する。
- ⑤ ホームセンターや家庭での貯蔵設備を改善すべき方法を計画する。
- ⑥ 台所の食器戸棚の貯蔵を改善するために、棚や他の工夫をする。効率的な寝具クローゼットを設けたり、趣味の貯えなどに備える。
- ⑦ 「家庭の貯え空間とそれが家族の調和に与える影響」という作文を書く。
- [H2-L5] 基本的学習：家事労働を計画したり、実行したりするスキルを発達させる
- [H2-A5] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：
 - ① 毎週、生徒が責任を持つ家事労働を考える。それと他の家族構成員の家事労働とを比較する。
 - ② 高校生の典型的な日課を研究する。生徒の健康に及ぼす影響について評価する。
 - ③ 家庭での責任だと思ふ活動を含んだ、一週間の時間計画を作成し、実行する。
 - ④ 部屋の掃除に、あなた自身の時間を割く。あなたの計画を改善するよう試みる。実験を繰り返す。
 - ⑤ 掃除設備や物品の貯えを評価し、再構成する。
 - ⑥ 順番に弟や妹が風呂や遊び部屋を片付けるのを手伝う方法を計画する。理解を容易にするために、説明シートを作成する。
 - ⑦ すべてが同時に行われる必要がないように、特別な掃除活動を行う計画を立てる。
 - ⑧ 日・週・季節ごとのホームセンターの全体的な手入れを計画したり、改めたりする。家族構成員に分配された責任を含むよう計画する。
 - ⑨ 家庭科室を絶えず手入れする計画を立てる。
 - ⑩ クリーニングの際に用いられる材料と方法について調査し、実演する。
 - ⑪ 時間、エネルギー、出費に関して、方法を評価する。改善点を提案しそれに従って行動する。他人が理解できる簡単な説明シートを作成する。
 - ⑫ あなたの家庭の習慣を考慮しながら、計画を立てたり、もしそうするならば、家族の他の構成員に押しつけることなしに、夕食に客を招待したりするなど、小さなパーティーを催すことが可能なことを知る。
- [H2-L6] 基本的学習：生活したり、活動する上で、家庭を安全な場所にする
- [H2-A6] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：
 - ① 家庭の安全と危険に関する映画を視聴し、討論する。
 - ② 家庭での危険を発見するためのチェックリストを作成する。
 - ③ 私たちの家庭の安全性を研究するために、チェックリストを用いる。家庭での危険を取り除くための計画を立て、実行する。
 - ④ 安全の予防措置と実践の観点で、ホームセンターをチェックする。
 - ⑤ 生命や財産を守るというようなトピックスについて、クラスや集会グループに講話する講演者を招待する。
 - ⑥ アイロンがけや洗濯、ミシンかけ、掃除、野菜の下ごしらえ、料理、設備の貯え、家具の再仕上げ、のような活動での事故を避けることを理解するために、一連の風刺漫画やリストを作成する。

HOMEMAKING 3

[H3-U1] 単元名：家族の食物問題

[H3-L1] 基本的学習：家庭で、すべての他の通常の責任と活動を遂行すると同時に、家族の食事を作るという主婦の問題を理解する

[H3-A1] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 家族の食事を作ることに関係する主婦の仕事を分析する。生徒が更なる研究と実践を必要とする領域を評価する。
- ② 「HOMEMAKING 1・2」について、現在までの進展を再検討する。
- ③ 単元に含まれるべき、グループと個人の体験に関する試案を開発する。

[H3-L2] 基本的学習：家族の食物需要のために、保存されるべき食物の量と種類を計画する

[H3-A2] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 家族に必要な食物の量と種類を決定するために、参照資料や家族の記録を研究せよ。家族の要求、好き嫌いなどについて考える。
- ② 夏の期間、自宅で保存される食物を表にする。保存の種類と方法について、これらを討論する。
- ③ 良い栄養と料理の多様性という観点で、上記のリストを評価する。
- ④ 2週間にあなたの家庭で消費される缶詰食品と冷凍食品について、およその総量と種類のリストを作成する。市販の保存食品を購入した場合とこれらすべてを家庭で保存した場合とのコストを比較する。
- ⑤ 経済性と時間管理の観点から、生産と保存の適否を討論する。
- ⑥ 地方では、冷凍と缶詰によって、食物が最も有効に保存されることを考える。
- ⑦ 8か月間、あなたの家庭で果物と野菜を保存する予算を立てる。

[H3-L3] 基本的学習：多様な方法で食物を保存する能力

[H3-A3] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 損傷の原因、保存に適した生産物の種類、利用するのに最も良い方法について討論する。
- ② 食物の保存に必要な備品を集め、評価する。
- ③ さまざまな缶詰め方法や冷凍、乾燥、ゼリー仕様、漬物によって、学校や家庭で可能な限り、さまざまな食物を保存する。
- ④ 適切に保管する。良い分類テクニックを利用する。
- ⑤ 保存食物の損傷をチェックする。食物の損傷に関する専門相談を準備する。この専門相談でクラスと協力するために、郡の拡張サービス職員や熟達した主婦を招待する。
- ⑥ 缶詰めセンターや急速冷凍貯蔵室のように、保存を援助する地域の方法を調査する。
- ⑦ 缶詰めるのを見学するために、民間或いは地域の缶詰め工場を訪問する。
- ⑧ 家庭や公共の急速冷凍貯蔵室を訪問する。
- ⑨ 家庭や民間で保存した生産物の価格と品質を比較する。有用な情報を得るために、ラベルを観察する。
- ⑩ 食物の保存に関する映画を視聴し、討論する。

[H3-L4] 基本的学習：家族の特別の食品問題に備え、栄養上適切な食事を計画する

[H3-A4] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① (実際に、架空の) 家族のために、毎日の食事を計画し、7つの基礎食品群の図を用いて、栄養上の適切さをチェックする。家族構成員の年齢、活動、食習慣、好き嫌いを考察する。
- ② 家族の食物の要求を分析する。この要求に応ずるように、食事を計画する。
- ③ 妊娠期間、幼児期、児童期、思春期、老年期、肥満、痩せ、便秘、貧血などのような特別の問題を抱えた人のために、規定食の差異を調査する。医師のアドバイスの必要性を考慮しながら、特別の規定食の問題を抱える人ための食事を計画し、準備する。
- ④ 病人のための食事を計画し、準備し、提供する。
- ⑤ 規定食に関する国民性の影響を研究する。もしあなたの地域で生活している、さまざまな国籍を持つ人がいるならば、彼らの興味深い食習慣や食事時のしきたりのいくつかについて、クラスで説明したり、実演するために、彼らの数人を招待する。
- ⑥ 本質的な食物の成分の源と利用を研究する。
- ⑦ 栄養に関する映画を視聴し、討論する。
- ⑧ 金銭的制限内で、すべての家族構成員に、適切な規定食を続ける方法を考える。

[H3-L5] 基本的学習：家族の食事を作るために、食物の注文を計画し、購入し、貯える、という、より多様な能力を獲得する

[H3-A5] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 市販の缶詰め製品と家庭で缶詰めしたものを使い、比較する。価格と用途の質を比較する。
- ② 購入に至る経済上の総量を決定するために、家庭や学校での貯蔵設備を調査する。
- ③ 1週間、ある典型的な食物の消費量を記録する。家族の収入に関して、この総計を討論する。これらの食事に関する市場リストと実際の

食物価格を用いて、低額、中額、高額の献立を計画するようにグループに分配する。すべての献立グループが一つ以上の食事を準備する。
④ 食料品店のタイプを研究する。提案された1週間の献立から、1週間分の注文を準備する。すべてのタイプの店で、この食物を購入する費用を計算する。これは、時間と金銭の節約のために、各グループが1つの特定の店を選択し、各グループの結果を比較することによって、学習が進められるかもしれない。

⑤ 食品のラベルを集める。与えられる情報の意義について討論する。ラベルをつけることに関する参照資料を研究する。
⑥ (缶を開け、ラベルをはずした) 数種の野菜の銘柄を展示する。味見し、評価する。ラベルを示し、ラベルだけで選択できるかどうか決める。品質と価格を含むこれらの製品の相違点を討論する。

⑦ 1週間或いは1ヶ月間、家族の買物に協力する。
⑧ 食料雑貨店の勘定を家計簿につける。もしそれが多すぎるならば、減らす方法を決定する。
[H3-L6] 基本的学習：家族の食事を準備したり、出すスキルを獲得したり、能率を進展させる

[H3-A6] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

① 次のやり方を強調しながら、一連の家族の食事を計画し、準備し、提供する。
(1) 食物の栄養価を保つ、(2) 準備時間を節約する、(3) 適切さと能率を求めて、食事の管理や安全性、衛生、活動計画、貯蔵スペースを改善する。

② 特別な場合の食事を計画し、準備し、提供する。
③ 鳥肉、焼肉用肉、イーストパンなどのように、進んだ食物の準備を実践する。
④ すべての女子が家族の食事を計画し、準備し、提供することを含む全活動を分担する機会を持つように、グループを編成する。

⑤ クラスの残りが観察することによって、一人以上のクラス構成員は季節の食事を計画し、準備する。クラスは使用した備品、要した時間、手順、活動の軌跡のような事実を記録する。記録は分析、討論され、改善点と限界が提案されるかもしれない。2回目の演示の食事が準備されるかもしれない。

⑥ あなたは母親に、(1) 家庭で食事を準備するのを観察してもらう、(2) その後、手順を要約するのを援助してもらう、(3) 改善のための提案をしてもらうように依頼する。

⑦ 備品の配置を示しながら、自宅の台所の計画を立てる。簡単な食事を準備したり、一般的な料理の手順を実行するステップを示しながら、計画を進める。備品の再配置がどれほど台所の能率を改善するか研究し、理解する。
⑧ これらの提案を利用しながら、記録を研究し、学校や家庭の台所をより快適にするよう計画する。

⑨ 能率的な配置に言及している地域で、新しく改造された台所を訪問する。
⑩ 使い方を学びたいと望む台所の備品に関する記事をリストアップする。これらのいくつかを実演し、実践する。作業に最も適した道具に関する図表を準備する。

[H3-L7] 基本的学習：食事時の家族構成員と客に対する社会的責任を意識するようになる

[H3-A7] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

① 台所であれ、食堂であれ、居間であれ、食卓を魅力的なものにする方法を実演し、実践する。
② 毎日、テーブルに装飾品を用意する。入手可能ならば、野草を利用する。
③ 家族での食事の社交的側面について討論する。

④ 食事がホームメイキングセンターに出されるととき、望ましい社会的実践を適用する。
⑤ 食卓と備品 (陶器や銀食器、リンネル製品の手入れと保存を含む) の手入れを研究し、実践する。
⑥ 家庭や学校で、すべてのグループの構成員にテーブルを設置したり、食事を出したり、備品を保管する機会を与える。

⑦ 家族構成員を楽しませるとき、彼らに軽い食事を提供する。
⑧ 学校や教会、クラブで、食事の給仕をしたり、パーティーやお茶の集いを計画したりしながら、社会的機能を手助けする。
⑨ テーブルを正しく設置したり、丁寧に給仕したり、主催者としての義務を遂行する能力をチェックするために、自己評価の方法 (または「家庭科教育」で、ハッチャーとアンドリュースが記した方法) を利用する。

[H3-U2] 単元名：家庭と地域の健康

[H3-L1] 基本的学習：栄養素の科学的価値を理解し、認める。

[H3-A1] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

① 身体的・精神的健康 (単元「家族の食物問題」を参照) への影響に言及して、身体における食物の作用を再検討する。
② 悪い食習慣を克服するよう試みる。
③ 新しい食物を少なくとも一つ食べることを学習する。

④ 栄養と衛生が家族の健康維持に果たす役割に言及している映画を視聴し、討論する。
⑤ 食物の準備や取り扱いが栄養価に及ぼす効果を考える。栄養素の内容を図表で示しながら、食事を準備する。
⑥ 食習慣が個人や家族の健康にどのような影響するか考える。

⑦ 食物の好き嫌いや誤った考えについて討論する。
⑧ ラットに餌を与える実験では、科学部や小学部と協力する。
⑨ 今日の栄養問題について、最新の雑誌記事を読み、報告する。

⑩ 望ましい食習慣に進展させるために、学年グループや学校給食で活動する。
⑪ 7つの基礎食品群と比較して、さまざまなヨーロッパ諸国における毎日の食物の配分を展示する。
[H3-L2] 基本的学習：食物供給に影響する経済、地域問題を知る

[H3-A2] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

① 地域の衛生規則を調査し、観察する。
② 衛生のやり方を理解するため、レストランや肉屋、食料雑貨店、缶詰工場などを訪問する。
③ 公的場所での皿洗いについて話してもらうために、公衆衛生員を招待するか、または能率的且つ衛生的方法を示している映画を利用する。

④ 地域の健康状態や食物供給に関する法律について討論するために、地域の公衆衛生員か学校医を招待する。(委員会が地域の公衆衛生員にインタビューし、クラスで報告するかもしれない。)

⑤ 場所、収入、職業などが私達の食物供給に与える影響のしかたについて討論する。
⑥ 地域で採れる水と牛乳や、地域の下水や生ごみの処理を発見し、報告する。
⑦ 牛乳を清潔に保つための処置を観察するために、搾乳場や瓶詰め工場を訪問する。

⑧ 製品が検査、統制される範囲を見つけるために、自分の地域の食料品店を調査する。
⑨ 「連邦食物・薬品・化粧品法」に関する報告書を準備する。それが消費者をいかに保護しているか、それがいかに効果的か、討論する。
[H3-L3] 基本的学習：安全と衛生の正しい手続きを理解する

[H3-A3] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

① 住むのに安全な場所かどうか決定するために、地域を研究する。
② 自分の地域の健康に影響を与える事故や伝染病、(洪水のような) 天災に関する記事を集め、討論する。
③ 学校のさまざまな場所において必要とされる安全対策を観察し、一覧表にする。

④ 生徒側から安全策を改善するプログラムを開発する。展示、劇化、討論などを用いる。
⑤ 個人がどのように地域の健康に影響を及ぼすのか、討論する。
⑥ 病気の伝染を阻止するためにとられるべき特別の予防策を列挙する。ハンカチやハンドソープなどの使用を強調しながら、学年の子ども達と一緒に、活動プログラムを開発する。

⑦ 家族の健康を脅かす家庭の害虫をいかに予防するか読み、討論する。ホームセンターの手入れに情報を利用する。
⑧ 散布、掃除、貯蔵などの備品、必需品を展示し、実演する。
⑨ ネズミやゴキブリ、他の動物を駆除する計画を立てる。必要な時間をかけてこの計画を実施する。

⑩ 衛生的な生ごみ処理を計画し、実施する。
⑪ 近所の大掃除キャンペーンを計画し、実施にあたって協力する。

一『昭和二十四年度学習指導要領家庭科編高等学校用』の底本となったニューヨーク州の家庭科カリキュラム 一

- ⑫ 雑草を刈り、蚊が繁殖する場所を撲滅する。
- ⑬ 必要に応じて、ドアや窓に網戸を付ける。

[H3-L4] 基本的学習：できるだけ、病気の費用を見積もる方法を理解する

[H3-A4] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 母子の福利や免疫付与、結核、性病、幼児麻疹、がん等を扱う健康サービスを受けるために出掛ける機関を見つける。このようなサービスの性質と費用を調べる。
- ② 医者や保健婦、学校の看護婦などのように、地域で利用可能な専門サービスを調査する。
- ③ あなたの地域に集団健康、集団入院、あらゆる種類の保険があるかどうかを理解する。そのような機関の目的、費用、利点、不利益等について討論する。
- ④ 社会生活に適合した医療保障や、個人や家族の病気に要する金銭上の費用を負担する手段としての貯蓄について、調査し、報告する。
- ⑤ グループ保険の利点について話してくれる経験豊かな人物を招待する。
- ⑥ 投資や預金の計画に関して、銀行員か、保険会社の人による談話会を開催する。(またはそのような人との協議に関する委員会報告会を開催する。)
- ⑦ 預金信用、政府の安全対策、建物とローン、不動産、株と契約、生命保険のように、貯蓄の一般的な方法を評価する。

[H3-L5] 基本的学習：家族の健康状態が家庭に存在する人間関係の質に及ぼす効果を認める。

[H3-A5] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 「家族関係と家族の健康」という題目で生徒、健康相談医、ソーシャルワーカー、家庭局職員等によるパネルディスカッションを開する。
- ② 家族内の人間関係は健康のため、という意見や健康の他の効果に関して、ソーシャルワーカーや福祉職員、牧師にインタビューする。
- ③ 広く文献を読み、健康問題のために、家族が直面する問題(雇用能力、個人的・経済的安全対策の考え、活動や人に対する態度等)に関するリストを作成する。
- ④ 精神的な健康を維持するためのきまりを明確にする。心配事からの開放の重要性を強調する。経済的不準備、無職、過労、他人への態度のような心配事の原因について考える。

[H3-U3] 単元名：家族の住居

[H3-L1] 基本的学習：家族と同様に、国の住宅問題について理解する

[H3-A1] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 地域や州、全米の住宅問題を例証している写真を調べたり、最新の新聞や雑誌記事を読む。住宅に関する法律の必要性を考える。
- ② 貸借と賃借の統制、利用可能な住宅の数と状態、混乱、戦後の住宅構造の質のような地域の住宅問題を研究する。
- ③ 既存の住宅関連の法律とこれから提案される法律について調査する。
- ④ 「家族の住宅に対する、政府の責任とは何か」というパネルディスカッションを開催する。
- ⑤ 健康や自重、人格形成等のような、住宅問題と社会問題との関係について考える。

[H3-L2] 基本的学習：家族の要求に応じて、効率よく空間を利用する住宅を計画することを学習する

[H3-A2] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 現実か仮想の家族構成員を選択し、最適な住宅の場所、住宅の種類、大きさ、部屋の数と配置を判断するための基準を設ける。
- ② 自分の地域の建造物のタイプを研究し、どれが最適かを決定する。
- ③ 土地に対する建造物の異なる適応や住宅構造のタイプ、異なる平面図における空間利用の比較、改造の可能性を観察するために、現地見学する。
- ④ 一つの住宅になる家を判断する基準を開発する。
- ⑤ 以前に開発した基準を用いて、理由も添え、一つ以上の住宅を評価する。
- ⑥ あなたが知っている住宅の部屋の配置が家を占める家族にとって、なぜ快適であったり、なかったりするのを説明する。改善を提案する。
- ⑦ 家族全員より大きな楽しみとするために、居間の再配置にあたって、家族の協力を得る。
- ⑧ 家族構成員の余暇と時間について、平面図を研究し、対策に言及する。この目的を達成するために、計画の可能な適応について考える。
- ⑨ 経済的利用と無駄な空間、快適な部屋と不快な部屋、貯蔵やプライバシー、採光、換気に関する対策などの証拠について、(図面上或いは実際の住宅)の平面図を分析する。
- ⑩ 親の承認を得て、採光、換気、湿度を改善するために、現在のあなたの家を望ましく改造する。
- ⑪ 子ども、男子生徒のために、家具の備え付けや部屋の配置を計画する。ホームセンターを子どもの領域を配置する。
- ⑫ 家庭で高齢者にとって望ましい特別の対策を考える。
- ⑬ もっと美しく、もっと快適にしたいと考える、ある領域のインテリアの改造を計画する。

[H3-L3] 基本的学習：住宅を選んだり、融資する際の問題点を理解する

[H3-A3] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 地方の地域での賃貸料や不動産価格について概観する。
- ② 住宅の所有に含まれる費用を計算し、自分の住んでいる地域では、住宅を購入するのと借りるのではどちらが高いかを決定する。
- ③ 住宅を買うことと借りることに含まれる、他の要素を一覧表にする。
- ④ 家を建てたり購入する前に、建築法や助言を与えてくれる機関について調査する。
- ⑤ 家に融資する方法を研究する。
- ⑥ 自分の地域の公共料金を調査する。
- ⑦ 小切手の書き方、小切手帳の清算を実践する。
- ⑧ 実際の不動産や保険に適用するいくつかの一般的な法律用語の意味を学習する。
- ⑨ 両親の助けを借りながら、自分の家族の年間の住宅費用を見積もる。
- ⑩ 家族の生活費と関連して、住宅費用について研究する。
- ⑪ ある家族の場面を設定し、財政的観点から住宅問題を解決する計画を立てる。

[H3-U4] 単元名：結婚を楽しみに待つ

[H3-L1] 基本的学習：連れ合い選択の基本として、反対の性のより良い理解を進展させる

[H3-A1] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 牧師や医者、主婦、社会福祉職員によるパネルディスカッションを開催し、次のような話題を討論する。
(1) 成熟した関係の上に、婚姻関係を築く、(2) 結婚に関する哲学、(3) 私達は結婚に関して、どのような準備を行う必要があるのか?
- ② 結婚を成功へと導く人物の望ましい性格について、リストアップする。連れ合いとして望ましくない性格もリストアップする。そのうちで、一番目、二番目に重要なものについて考える。
- ③ 討論する際の基本として、類似の題目に関する最新記事を選択して、読む。
- ④ 「ディナーパーティー」というような映画を視聴し、討論する。
- ⑤ 結婚や幸せな家族生活に関する切抜きを集める。
- ⑥ 更なる情報が必要とされる主題のために、質問箱を利用する。
- ⑦ 愛を育てることと恋に落ちることについて討論する。
- ⑧ 連れ合いを選ぶことに関する非公式の討論に参加するよう年上の男子を招待する。
- ⑨ 結婚したり、しなかったりする理由について討論する。
- ⑩ 人生のパートナーを選ぶときに影響を与える、遺伝的、環境的要因について討論する。

[H3-L2] 基本的学習：結婚式のタイプと予め必要な準備の理解を進展させる。

[H3-A2] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 結婚式のタイプ、各タイプの利点や欠点、結婚式の計画、費用や費用節約のための方法等について文献を読み、報告し、討論する。
- ② 家族の結婚式の写真を持ち寄る。これらや他の結婚記念品を準備する。
- ③ 結婚式典について読んだり、説明してもらうために、牧師を招待する。

- ④ もし可能であれば、集団で結婚式に参加する。
- ⑤ 花嫁のために、結婚準備用品入れを作製することを計画する。
- ⑥ 花嫁を楽しませるためのシャワーや他の形式のアイデアを集める。招待や飾りつけ、食物、娯楽、贈り物を贈呈する方法を含める。
- ⑦ これらのアイデアのいくつかを計画し、実行する。
- ⑧ 贈り物のお礼を言う方法を考える。
- ⑨ 花嫁が結婚後、すぐに備える嫁入り道具やワードローブについて考える。
- ⑩ 結婚に関する法律上の要求と利用可能なカウンセリングサービスを調査する。

[H3-L3] 基本的学習：何が結婚を成功へと導くのか、理解する

[H3-A3] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 結婚前に双方のパートナーによって考慮されるべき要素について、文献を読み、討論する。
- ② 成功し、幸せな結婚カップルと、次のトピックスについて会話する。
 - (1) 結婚前、お互いをどのくらいの期間知っていましたか？ (2) 結婚前、どんなことを話し合いましたか？
 - (3) 話し合った関心事は、何でしたか？ (4) あなたの結婚に関する見地は、結婚後変化しましたか？
 - (5) 結婚に関する成功はどんな基準で判断しますか？。談話の内容をクラスに報告する。
- ③ 結婚後、必要とされる調整について討論する。
- ④ 結婚後、個人の魅力を維持する重要性について討論する。
- ⑤ 家族や個人の生活に貢献している、市民センターや慈善施設、教会集団やクラブといった地域の組織を調査する。
- ⑥ 結婚したカップルが共通の趣味を持つことの価値について考える。
- ⑦ パートナーのそれぞれが結婚前、参加していた活動や趣味を続けることの重要性について討論する。
- ⑧ 可能な時はいつでも、農民共済組合やYMCA、教会グループといった地域の活動を見学し、参加する。
- ⑨ 活動の更なる提案については、HOMEMAKING 5aを参照する。

[H3-U5] 単元名：家庭の中の子ども

[H3-L1] 基本的学習：子どもが家族に加わることの豊かさを認識する。

[H3-A1] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 次のトピックスについて、地域の構成員による講話を準備する。子どもや孫は、自分の生活を豊かにしているか。兄弟や姉妹は自分の生活を豊かにしているか。子どもなしでは、家族は完全ではない。
- ② 子どもを養子にする可能性に関する討論（慎重論と問題を含めて）に続けて、子どもの養子に関する雑誌記事を読む。

[H3-L2] 基本的学習：親が子どものためにする調整について理解する

[H3-A2] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 子どもが健康で、社会にうまく適応でき、五体満足に成長するために、家庭が子どもに供給すべきことについて、親と子どもでパネルディスカッションを開催する。
- ② 子どもを育てる上での父親と母親の役割を考える。
- ③ 別居、離婚、死などによって壊れた家庭が、典型的な家庭生活を過ごしていた子どもの生活に及ぼす効果について、事例を挙げ、報告する。
- ④ 次のことを報告する。子どもが成長するのにかかる費用。子どもと一緒に受けられる適切な保険の必要性。
- ⑤ 「親の責任」というエッセイを書く。

[H3-L3] 基本的学習：家庭での新しい赤ちゃんのための計画の立て方を学習する

[H3-A3] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 赤ちゃんは、なぜこのように興味深いアピールするのか討論する。赤ちゃんの写真を掲示板に準備する。
- ② 新しく赤ちゃんが誕生するとき、家族が調整を必要とする準備について討論する。幼い子どもが新しい子どものための計画を共有し、赤ちゃんが誕生したとき、赤ちゃんを受け入れるのを援助する方法を調べ、討論する。
- ③ 胎児が成長し、発達する間に生じる変化について、討論する。コンサルタントとして、学校もしくは郡看護婦を招待する。
- ④ 医者や赤ちゃんが生まれるまでに、どんなことに気をつけなければならないか提案してくれたことを妊婦に講話してもらおう依頼する。
- ⑤ 妊娠にまつわる誤りや迷信について討論する。
- ⑥ 妊婦の一日のスケジュールを計画する。
- ⑦ 母親の医療費、赤ちゃん用の家具代、衣服代、その他必要経費を確かめる。
- ⑧ 新生児用品一式の掲載された通信販売のカタログを利用する。提示されている総額、品質と価格に関する情報から評価する。
- ⑨ 人工乳の準備を実演する。母乳と信頼できる原料を使った人工乳を参考として、討論する。
- ⑩ 一年間、赤ちゃんの食事に含まれる食物を示す図表を作成する。それぞれの食物が加えられる時期や、食物が与えられる形態を示す。
- ⑪ 赤ちゃんのために快適なベッドを間に合わせて作る。
- ⑫ 赤ちゃんの入浴に必要な最低限の道具を集める。それに要する費用を見積もる。
- ⑬ 看護婦が母親に、赤ちゃんの入浴を実演する。
- ⑭ 「赤ちゃんの入浴時間」という映画を視聴し、討論する。
- ⑮ 赤ちゃんや幼い子どもにふさわしい衣服を展示する。
- ⑯ ある期間、子どもに食事を食べさせたり、入浴させたり、着替えさせる責任を負う。
- ⑰ 赤ちゃんの衣服の洗濯を実演する。
- ⑱ あなたの地域で金銭的に恵まれない親や、クラスで相当する家族のために、新生児用品一式を組み立てる。
- ⑲ 子どもを計画し、作製する。
- ⑳ 新しい母親、赤ちゃん、家族のために、実際のスケジュールを計画する。家族のすべての構成員の義務に応じて、計画を立てる。柔軟な計画にする理由を論じる。
- ㉑ あなたの家族や近所にいる妊婦が赤ちゃん用の家具を準備したり、空間を確保するのを援助する。

[H3-L4] 基本的学習：さまざまな年齢段階における子どもの身体的、精神的、社会的発達を理解を得る

[H3-A4] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① (食事、就寝、排泄を含めて) 1年目に獲得したり、発達したりする赤ちゃんの習慣リストを作成する。
- ② 映画やグラフ、表、実際の観察を通して、異なった年齢レベルの身体的発達や変化を研究する。
- ③ 異なる年齢段階の子どもが這って進んだり、歩いたり、ものを掴んだり、巧みに操作する能力を観察する。
- ④ 身体的な成長と食及び健康習慣とを関連づける。
- ⑤ すべての発達段階における進歩を観察し、記録するために、幼稚園から一人の子どもを選択する。
- ⑥ (公立図書館のような) コミュニティーで、お話の時間に参加する。
- ⑦ 学校の体育の時間を観察する。子どもたちの身体的、社会的発達を記述する。
- ⑧ 「最初の6年間」(ニューヨーク・フィルム・ライブラリー) というような映画を視聴し、討論する。
- ⑨ 家庭での経験が子どもの行動パターンに与える影響を研究し、討論する。
- ⑩ 両親と子どもとの感情的確執を理解するという試みにおいて、[Thicker Than Water] に報告されている事例を読み、討論する。
- ⑪ 小さな遊びグループを組織する。子どもたちの遊びを指導し、方向づける。
- ⑫ 日曜学校や教会の日曜礼拝の手伝いを行う。
- ⑬ 与えられた期間、ベビーシッター役を務め、その体験を報告する。
- ⑭ 子どもがペットの世話をしたり、ペットと遊ぶのを学習することを手助けする。
- ⑮ 子どもが家庭での活動に責任をもつように手助けする。

[H3-L5] 基本的学習：子どもが毎日の決まった仕事や習慣を形成するよう指導することを学習する

[H3-A5] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 習慣の形成の原理に関する教科書や参考資料を研究し、応用の方法を説明する。

一『昭和二十四年度学習指導要領家庭科編高等学校用』の底本となったニューヨーク州の家庭科カリキュラム 一

- ② 幼い子どもが良い習慣を身に付けるのを手助けする。時折、その体験について報告する。
- ③ 子どもと幸せに生きていく上で、忍耐力と思慮深さが必要な理由を討論する。
- ④ 成長過程の子どもが自立や成熟へと向かうのを手助けする方法を研究する。適宜作製された衣服や設備の影響を示す。
- ⑤ 玩具を慎重に選択することによって、いかに子どもの成長や発達が促進されるか考える。説明のために、玩具を作製する。
- ⑥ 放課後、週末、休暇中の幼い子どもの世話に関する責任を負う。
- ⑦ 小学校低学年から栄養不良の子どもを選び、栄養習慣を改善するよう試みる。(学校の食堂での食物選びや食習慣の指導を手助けする。)
- ⑧ 子どもたちがバランスのとれた昼食を取るようカフェテリアに、健康図表を貼る。
- ⑨ 小学校低学年に、10:00もしくは3:00の食事を準備し、提供する。
- ⑩ お話の時間や遊びの時間に、幼稚園や小学校の教師の手伝いを行う。

[H3-L6] 基本的学習：子どもに影響を与える社会的、地域的問題を理解する

[H3-A6] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 子どもを育てたり、しつけることに関して、遺伝と環境の重要性を論じる。
- ② 親としての責任の準備について説明するために、大人の講演者を招待する。
- ③ 子どもを保護する州や郡の機関について、子どもに講話するために、児童福祉施設の人を招待する。
- ④ 児童福祉に関する責任について講話するために、赤十字社のケースワーカーを招待する。
- ⑤ 思まれない子どもたちのために、ニューヨーク州で作成された対策を示す図表を準備する。
- ⑥ ニューヨーク州の「子ども労働法」について調べる。それと合衆国政府のものとを比較する。
- ⑦ 子どもの労働や福祉に関するトピックと問題について、パネルディスカッション又はディベートを行う。
- ⑧ 市民権の学習に貢献する生徒と一緒に、活動を準備する。

[H3-U6] 単元名：家族のための必要な衣服

[H3-L1] 基本的学習：衣服のニーズを決める要素を理解する

[H3-A1] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 良く整理され、適切なワードローブのための衣服の種類を表にする。
- ② 衣服の一覧表を作成する。春や夏のワードローブに加えることが適当と思われるものを決める。値段を見積もる。
- ③ 衣服のコストと寿命に対するクリーニングやアイロンかけの影響を考える。
- ④ 自分と家族の欲求に基づいて、新しい衣服を購入する判断について討論する。
- ⑤ 一人以上の家族構成員の衣服の費用を母親と計画する。
- ⑥ 衣服の取替えや修繕、ワードローブの追加について、年ごとに計画を立てる。
- ⑦ 手持ちのワードローブを最小限に修理したり、工夫する。
- ⑧ 空想の家族を設定せよ。女子高校生が総額に達していると仮定して、クラスの典型的な生徒に、それぞれの支出を公平に評価する。

[H3-L2] 基本的学習：衣服をいつ購入したり、作製すればよいのか、判断能力を発達させる

[H3-A2] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 必要な一つ以上の衣服を作製する計画を立てよ。買うか作るかを決める要素を分析する。衣服を比較し、吟味する。
- ② 既製服の値段を分析する。
- ③ 一定期間、自分が購入した衣服の値段を記録する。既製服の値段と比較して、それぞれの自作の衣服に要した全体コストを明確に示す。

[H3-L3] 基本的学習：家族の衣服を定期的、季節ごとに、手入れをする責任を分担する

[H3-A3] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① スポンプレス、シャツのアイロンかけ、カーテンの洗濯という生徒が直面しなければならない、家族の洗濯問題のリストを集める。正しい手続きを実演する。必要性と関心に応じて、手続きを実践する。
- ② 母親の洗濯の手伝いを行う。
- ③ 自分でアイロンをかける責任を負う。
- ④ 衣服の季節ごとの手入れの計画を立てる。効率面を考えて、方法を評価する。
- ⑤ 冬物の衣服を効率よく貯える。
- ⑥ 民間のドライクリーニング店を訪問する。
- ⑦ 家庭でのドライクリーニングと比較して、民間のクリーニング店の長所と短所を評価する。
- ⑧ 毎週のホームランドリーについて、さまざまな方法による手入れのコストを比較する。
- ⑨ きちんとシャツにアイロンをかけることを実演し、実践する。
- ⑩ カーテンを洗濯し、アイロンをかける。

[H3-L4] 基本的学習：使用目的に合った布地を選択する

[H3-A4] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 現在の織物の知識を明確にするために、布地に関するプレテストを行う。
- ② 生徒が着ている衣服の生地や、すべての家族構成員が使っている典型的な生地のサンプルを調べる。繊維、織り方、仕上げの違いを観察する。これらの違いの理由を研究する計画を立てる。
- ③ 情報が得られたように、繊維の性質を記録するために表を用いる。
- ④ 最近使用されている、生地や仕上がりを示す専門用語を理解するために、衣服のラベルや広告、家の織物を研究する。
- ⑤ これらの専門用語を研究し、意味を理解するために参考書を利用する。
- ⑥ 見た目と同様に、手触りの違いを詳しく調べるために、できるだけ多くの布地の見本を扱う。
- ⑦ 繊維、織り方、その仕上げ状態を見極めるために、見本を試験する。研究した繊維や生地のすべての性格を、使用の適合性と関連づける。
- ⑧ 衣料費の記録に、材料と繊維の名称、洗濯表示のような情報を記録する欄も含める。
- ⑨ 布地の理解がどれほど満足な衣服購入に貢献したか、報告する。

[H3-L5] 基本的学習：縫製のスキルを改善し、拡大させる

[H3-A5] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① ワードローブ（自分や家族の他の構成員のために）にニーズに合わせた衣服のパターンを選び出す。それは新たな縫製問題であるが、現在の裁縫能力の範囲内であり、今までの単元で学習したデザインの原理を満たすべきである。
- ② デザインや色にふさわしい材料を選択し、選択したパターンを充当する。
- ③ できるだけ指導は少なく、パターンを研究し、材料を準備し、パターンを敷き、裁断し、合わせて衣服を作製する。
- ④ 以前に議論したすべての要素をどのように満たすのか、決定するために、クラスの衣服を評価する。
- ⑤ 時間と能力の許す限り、自分や他人のために更なる衣服を作製する。

[H3-L6] 基本的学習：衣服を修繕したり、繕うことによって、家族の衣服を拡大し、大事に使う。

[H3-A6] 家庭、学校、地域における望ましい経験と活動：

- ① 繕ったり、作り直した衣服やアクセサリをクラスで着たり、持参する。
- ② 家族構成員のワードローブを研究し、全然着ていなかったり、たまに見か着ない衣服を表にする。
- ③ 古着を家から持参し、何から作られているか、どのように作り直すか見た目が良くなるか、クラスの援助を受けて、決める。
- ④ 製作過程で要求される実施方法について、参考書や説明に役立つ材料、図表を調べる。
- ⑤ 次の問題点を含む修繕のタイプを分析する。綻び、繕い、洗濯、染み抜き、アイロンかけ、染色。要求された手続きを教師或いは生徒で実演する。
- ⑥ 修繕や作り直しに当たって、1つ以上のプロジェクトを立ち上げる。
- ⑦ クラスで評価するために、完成したプロジェクトを展示する。

表2 「昭和二十四年度学習指導要領家庭科高等学校用」と“Planning Guide HOMEMAKING EDUCATION” (HOMEMAKING 2) との学習活動に関する類似内容対比表 (抜粋)

二十四年度学習指導要領家庭科				Planning Guide HOMEMAKING EDUCATION				
目録 (領域)	単元	目標	学習 活動 記載 ページ	学年	単元	基本的 学習	学習 活動	記載 ページ
Ⅷ	4	1	1,4	185	2	1	1	77
Ⅷ	4	2,3	10	185	2	1	1	77
Ⅷ	4	1	3	185	2	1	1	78
Ⅷ	4	1~3	1,2,5,9	185	2	1	1	78
I	2	1~3	5	11	2	2	1	79
I	2	1~3	3	11	2	2	1	79
I	2	1~3	5	11	2	2	1	79
I	1	1	4	7	2	2	2	79
I	1	1	6	7	2	2	2	79
I	1	1	5	7	2	2	2	80
I	1	1	9	7	2	2	2	80
I	6	1	1~4	23	2	2	3	80
I	1	2	3	9	2	2	4	81
I	1	2	2	9	2	2	4	81
I	1	2	3	9	2	2	5	81
Ⅷ	1	3	7	181	2	3	2	84
Ⅷ	4	2	5	185	2	3	2	84
Ⅷ	4	2	8	185	2	3	2	84
Ⅷ	5	2	6	187	2	3	3	85
V	3	2	6	123	2	3	3	86
Ⅲ	1	3	3	65	2	3	5	87
Ⅷ	5	1	2	187	2	3	5	87
V	4	2	5	123	2	3	5	88

表3 「昭和二十四年度学習指導要領家庭科高等学校用」と“Planning Guide HOMEMAKING EDUCATION” (HOMEMAKING 3) との学習活動に関する類似内容対比表 (抜粋)

二十四年度学習指導要領家庭科				Planning Guide HOMEMAKING EDUCATION				
目録 (領域)	単元	目標	学習 活動 記載 ページ	学年	単元	基本的 学習	学習 活動	記載 ページ
V	4	3	1~4	127	3	1	2	89
V	4	3	7	127	3	1	2	89
V	4	3	4	127	3	1	2	89
V	4	3	8	127	3	1	3	89
II	4	2	2	47	3	1	3	90
V	2	4	1~4	113	3	1	4	90
II	3	2	2	43	3	1	5	91
II	3	2	2	43	3	1	5	91
V	4	1	9,10	125	3	1	5	91
V	5	1	1	131	3	1	6	92
V	2	1	6	113	3	1	6	92
V	2	1	6	131	3	1	6	92
Ⅷ	3	1	11	183	3	1	6	92
V	5	1	5	131	3	1	6	92
V	3	1	4	121	3	1	6	92
Ⅲ	2	4	4	69	3	1	7	93
VI	2	3	2	145	3	2	2	94
VI	1	5	1	139	3	2	3	95
VI	1	5	4	139	3	2	3	95
II	7	3	4	59	3	2	4	96
Ⅷ	4	2	5	185	3	3	2	97
Ⅷ	3	1	1	183	3	3	2	98
IV	4	3	1	99	3	4	1	99
IV	4	5	1,2	101	3	4	2	100
IV	4	8	2	101	3	4	3	101
IV	4	2	1	99	3	4	3	101

「HOMEMAKING 3」と学習指導要領の関連性については、表3が示すとおりである。「HOMEMAKING 3」の『単元1』の学習活動には、学習指導要領の①「Ⅱ(家庭経済)」の(単元3・4)、②「Ⅲ(家庭管理)」の(単元2)、③「Ⅴ(食物)」の(単元2・3・4・5)、④「Ⅷ(住居)」の(単元3)と類似のものが見られた。また『単元2』では、「Ⅱ(家庭経済)」の(単元7)と「Ⅵ(衛生)」の(単元1・2)と類似性があった。

さらに『単元3』では、「Ⅷ(住居)」の(単元3・4)と類似がみられた。最後に『単元4』では、「Ⅳ(家族)」の(単元4)において類似の活動がみられた。なお「HOMEMAKING 3」の『単元5』及び『単元6』と学習指導要領との関連については、省略している。

以上のように、「HOMEMAKING 1」と同様に、「HOMEMAKING 2」と「HOMEMAKING 3」においてもわが国の学習指導要領との関連性が強く見られたことから、『Planning Guide HOMEMAKING EDUCATION』が『昭和二十四年度学習指導要領家庭科編高等学校用』の底本となっていたことは疑いなくと思われる。

おわりに

戦後日本の高等学校家庭科教育の展開は、『昭和二十四年度学習指導要領家庭科編高等学校用』の成立に大きく依拠していた。この指導要領は、先行研究や本稿で明らかになったように、ルイスが日本側委員会に手渡した、当時アメリカでも最新のニューヨーク州のカリキュラムが底本となっていた。その後、このカリキュラムには、社会・家庭や教育事情の変化により適応するように1953年に補遺版が出された。しかしこれは、今回検討したカリキュラムのかたちを大幅に変更するものではなかった。ニューヨーク州において、画期的な概念アプローチによる中等家庭科カリキュラム開発プロジェクトが発足したのは1961年であり、1965年には、その成果である「概念と一般化」を構成原理とした現代的なカリキュラムである『Home Economics Education Syllabus』が完成し、出版された⁴⁾。

このように、日本の学習指導要領の原型を作ったアメリカの中等家庭科カリキュラムは大いなる飛躍を遂げたが、残念ながら、これが占領期のようにわが国の家庭科教育に根源的な影響を与えることはなかった。

【引用文献】

- 1) 重松伊八郎「新制高等学校家庭科の教育」, 尚学社編集部編『新制高等学校の教育』, 1948, p.172.
- 2) 柴静子「占領下の日本における家庭科養育の成立と展開 (Ⅷ)」, 『広島大学大学院教育学研究科紀要第二部』第52号, 2003, pp.307-316.
- 3) 『Planning Guide HOMEMAKING EDUCATION』: The University of the New York, The State of New York Bureau of Home Economics Education, 1950, pp.77-109.
- 4) 中妻静子「1960年代のニューヨーク州におけるカリキュラム開発」『家庭科教育』50巻15号, 1976, pp.70-73.